

# 2016年度日本マスターズ短水路大会 滋賀（草津）会場

今回の日本マスターズ短水路大会滋賀会場の参加者数は、371名となりました。多数のお申込みありがとうございました。

本大会の全競技を円滑に終了する為には、参加者の皆様のご協力が不可欠です。

つきましては、参加者一人一人の皆様に、下記の事項についての周知徹底をよろしくお願ひします。

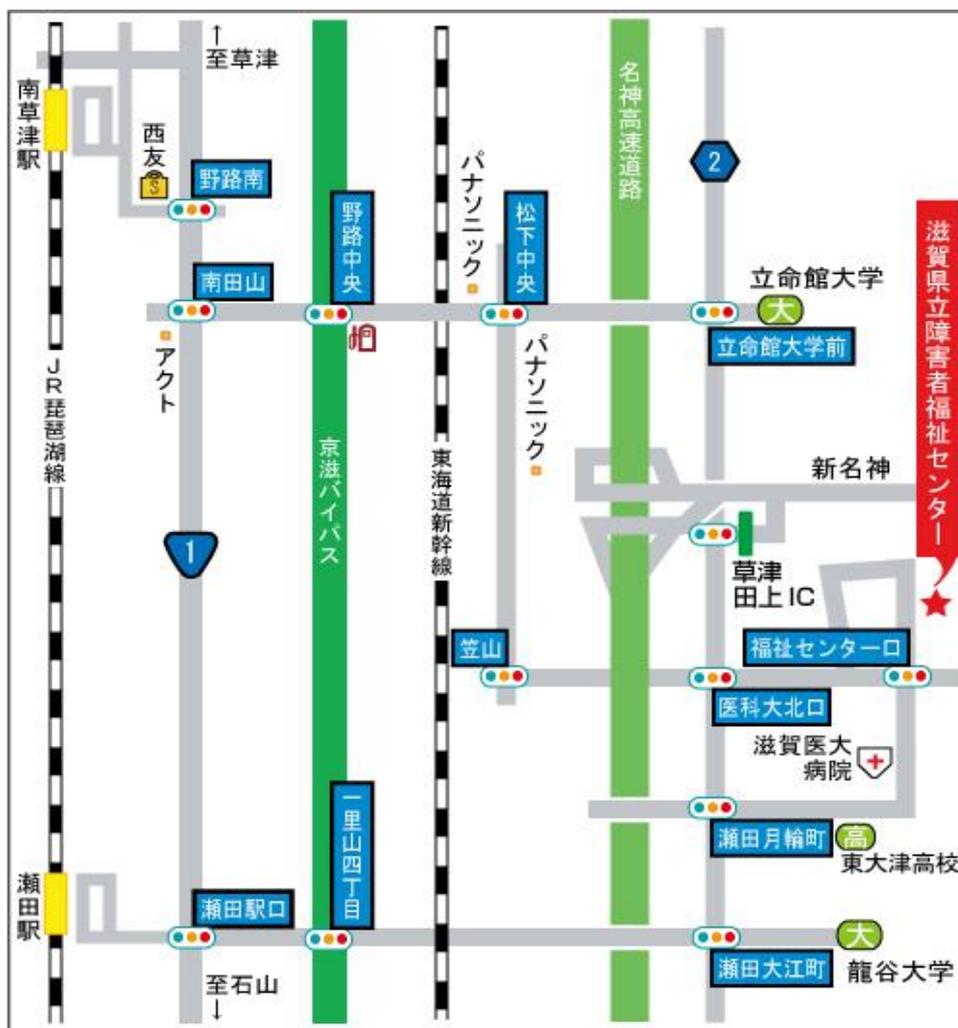
1. 大会会場	2
2. 大会日程／競技スケジュール	3
3. 会場案内図	4.5
4. 会場利用について	6
5. IDカード／受付／チームリーダーミーティング	7
6. 競技方法	7
7. ウォーミングアップ／公式スタート練習	8
8. 招集	8
9. スタート／プールからの退水方法	9
10. リレー種目	9
11. 表彰／記録	10
12. 申告が必要な方	11
13. 施設使用上の注意	12
14. 健康管理	13
15. その他	13.14
* 撮影許可申請書の提出について	

## 1. 大会会場

「滋賀県立障害者福祉センター」(25m×6レーン 公認プール)  
〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-5-130

### <交通機関>

- ・ 新名神高速道路「草津田上IC」より約3分
- ・ JR琵琶湖線「南草津」駅よりバス約30分  
帝産湖南交通6番乗り場 草津養護学校行き



### <大会期間中の問合せ先>

090-9270-7097 (大会当日、開場時間～大会終了時間まで)

- ※ 大会期間中のみ有効な電話番号です。
- ※ 大会開催前・終了後は堅田イトマンスポーツクラブ(077-573-2531)まで。
- ※ 本大会について滋賀県立障害者福祉センターへ問い合わせを行うことはご遠慮ください。

## 2. 大会日程／競技スケジュール

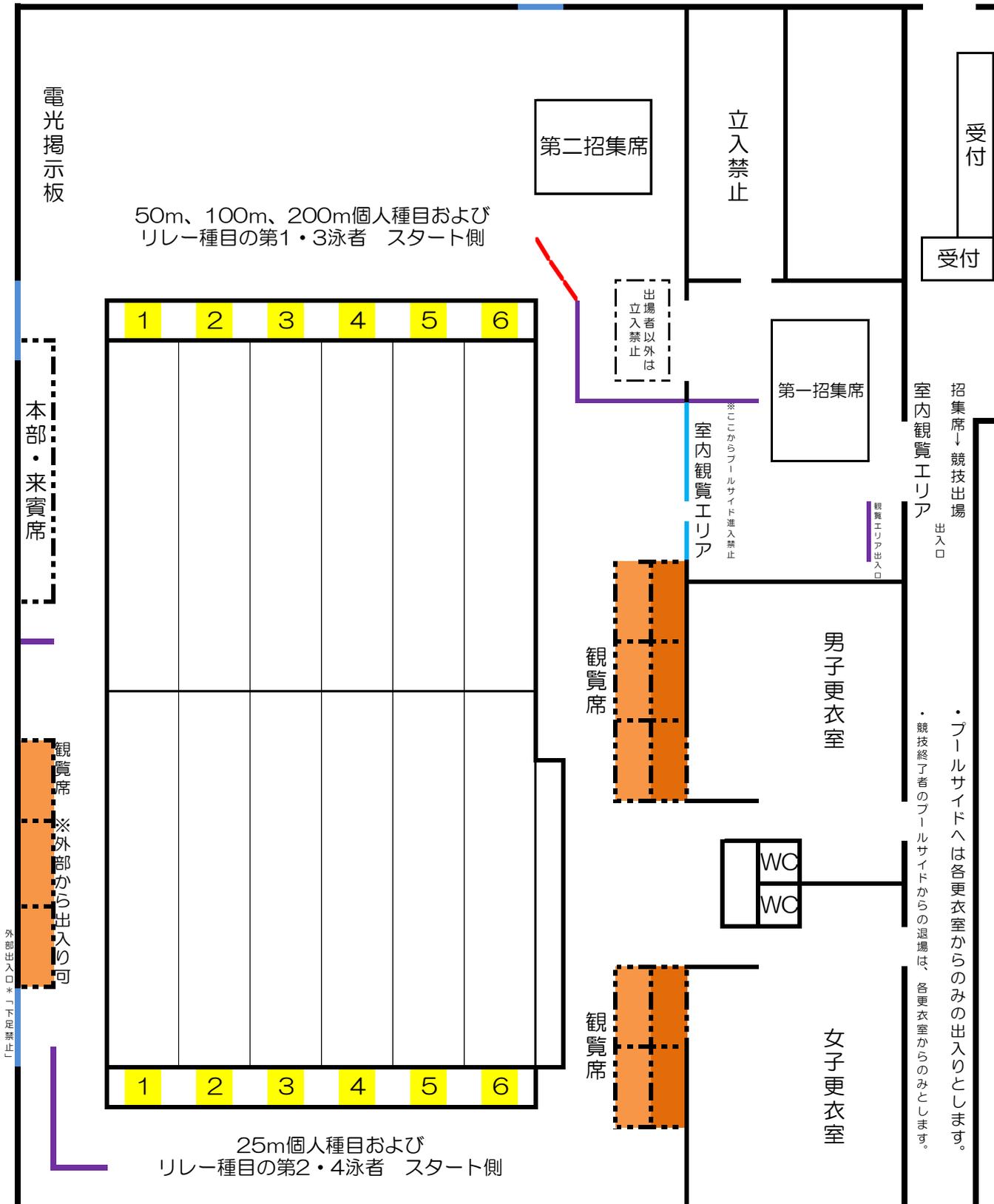
開場	8:30
ウォーミングアップ	8:40 ~ 10:00
	※プログラムNo. 11と12の間、No. 21と22の間もウォーミングアップとして開放します。
公式スタート練習	9:00 ~ 9:45
チームリーダーミーティング	10:00
開会式	10:20
競技開始	10:40
競技終了予定	15:27

### <競技順序>

NO	種目	予定時間	NO	種目	予定時間
1	混合 4×25mﾄﾞﾚｰﾙｰ	10:40	18	女子 25m背泳ぎ	13:06
2	女子 200m個人ﾄﾞﾚｰ	10:44	19	男子 25m背泳ぎ	13:12
3	男子 200m個人ﾄﾞﾚｰ	10:55	20	女子 25mバタフライ	13:16
4	女子 50m自由形	11:07	21	男子 25mバタフライ	13:22
5	男子 50m自由形	11:17	<b>休憩 28分</b>		
6	女子 50m平泳ぎ	11:26	22	混合 4×25mﾌﾘｰｰﾙｰ	13:50
7	男子 50m平泳ぎ	11:34	23	女子 100m個人ﾄﾞﾚｰ	13:54
8	女子 50m背泳ぎ	11:45	24	男子 100m個人ﾄﾞﾚｰ	14:08
9	男子 50m背泳ぎ	11:53	25	女子 100m自由形	14:22
10	女子 50mバタフライ	11:58	26	男子 100m自由形	14:33
11	男子 50mバタフライ	12:03	27	女子 100m平泳ぎ	14:43
<b>休憩 27分</b>			28	男子 100m平泳ぎ	14:49
12	女子 4×25mﾄﾞﾚｰﾙｰ	12:30	29	女子 100m背泳ぎ	14:58
13	男子 4×25mﾄﾞﾚｰﾙｰ	12:39	30	男子 100m背泳ぎ	15:03
14	女子 25m自由形	12:44	31	女子 100mバタフライ	15:11
15	男子 25m自由形	12:50	32	男子 100mバタフライ	15:14
16	女子 25m平泳ぎ	12:56	33	女子 4×25mﾌﾘｰｰﾙｰ	15:17
17	男子 25m平泳ぎ	13:01	34	男子 4×25mﾌﾘｰｰﾙｰ	15:22



### 3. 会場案内図（拡大図）



#### 4. 会場利用について

## 必ず守って下さい

### 滋賀県立障害者福祉センター利用について

#### 駐車場

センター横の空き地（第一駐車場）およびプール棟裏（第二駐車場）に駐車してください。

\* 正面玄関前の駐車場は、他のセンターご利用者の為に空けておいてください。

#### 更衣室

プール及び選手控室の更衣室は利用できます。

ただし、選手控室の更衣室については、他のセンターご利用者と共用になります。

#### 足もと

プール及び選手控室は、土足厳禁です。

退水後は水気をしっかりと拭き取り、特に廊下・選手控室を濡らさないようにしてください。

#### ごみ

館内のごみ箱には、絶対にごみを捨てないでください。

各自のごみは、必ず持ち帰り、各自の責任で処分して下さい。

#### 飲食

プールサイドでの食事は、摂らないでください。

水分補給は、プールサイドで摂っても大丈夫です。但し、溢したりしないように注意して下さい。

#### 喫煙

喫煙は、指定の喫煙場所をお願いします。

#### 写真撮影

撮影には「撮影許可申請書」が必要です。

ただし、競技と関係のないものの撮影はお断りします。

※P12「13.施設使用上の注意」を参照ください。

大会当日は、大会関係者以外の方もセンターを多くご利用されます。  
各自でマナールールを守り、お互い楽しい一日を過ごしましょう。

## 5. IDカード／受付／チームリーダーミーティング

### < IDカード >

- (1) 参加選手は、2次要項と一緒に届くIDカードを必ず受け取って下さい。  
IDカードは、2016年度日本マスターズ短水路大会（滋賀）の参加選手であることを証明する大切なものです。プールへの入場時、招集受付、メダルの受け取りの際など、大会期間中必要になりますので、首から下げるなど会場で見える位置に必ず携帯して下さい。
- (2) IDカードには以下の項目があり、1つでも未記入があると参加できません。
  - ・ IDカードの署名欄には必ず自署にて署名ください。  
※署名がない場合は出場をお断りする場合があります。
  - ・ 大会当日緊急時の連絡先（裏面）：参加選手のご家族に緊急の連絡を要する場合に連絡の取れる連絡先を記入して下さい。
- (3) IDカードを紛失および忘れた場合は再発行所（受付）にて再発行して下さい。再発行料として500円（税込）が必要となります。

### < 受付 >

チーム責任者は来館時、「受付」にてチーム受付を行ってください。その際参加章・公認記録証およびプログラム（予約分）をお渡しします。（「チーム受付表」はありません。）プログラムに記載されている氏名・種目等を必ず確認してください。プログラムの印刷ミスがあった場合は、チーム責任者が所定用紙に記入の上、該当競技の開始2時間前までに、受付に提出してください。

※ 所定用紙は受付にあります。

### < チームリーダーミーティング >（監督者会議）

○ 10：00～ 競技役員控室にて行います。

競技についての詳細と変更事項をご連絡します。

必ずチームの代表者または代理の方が出席し、連絡事項を出場選手に伝えてください。今年度の規則改正について説明します。

## 6. 競技方法

- (1) 2016年（一社）日本マスターズ水泳協会競技規則に則り行います。4月1日より競泳競技規則が一部変更になりました。選手は、競技規則をご理解のうえ、出場してください。
- (2) 組み分けは、エントリーに従い男女別（混合リレーを除く）・年齢区分別に、高年齢から低年齢へタイムの遅い組から速い組への順に行います。
- (3) 組み分けされている種目で棄権者が多数出た場合、前後の組と合同で競技を行う場合があります。
- (4) 競技時間はあくまで予定であり、競技の進行状況により前後します。招集受付に遅れると棄権扱いとなりますので、競技の進行を確認し、遅れることのないよう招集席へお越しください。

## 7. ウォーミングアップ／公式スタート練習

- (1) 大会中は定められた時間で、ウォーミングアップが可能です。ウォーミングアップ時間はP3「2. 大会日程」をご確認ください。  
※レース中に予定している2回のウォーミングアップ（休憩時間）は競技進行状況により時間の短縮等発生する場合があります。なお、この時間のウォーミングアップでの飛込みは禁止とします。
- (2) 公式スタート練習は、9：00～9：45の間に6・5レーンで行います。なお、混雑状況によりレーン数の増減を随時行います。  
※公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛込み練習ではありません。

## 8. 招集

- (1) 招集席は、受付横となります。
- (2) 招集席入口横のホワイトボードにて、「種目名・〇組・レーン・選手名」を掲示します。ご自分の出場する組が掲示されたら、ただちに招集員に組・レーン・名前の申告と、IDカードを提示し、指示に従って進んでください。  
※ ご自分の組・レーンは忘れないように、また、間違えないように申告してください。組・レーンを間違えて泳いだ場合は失格となります。  
※ IDカードの誓約書欄に署名のないものは招集を受けることはできません。
- (3) 出場申告後、やむを得ず棄権する場合は招集所まで申し出てください。
- (4) 招集席へは、ご自分の出場する種目、組の8レース前までにお越しください。競技の進行をご確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。
- (5) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。
- (6) 25m種目およびリレー種目の第2・第4泳者に出場する選手のIDカードは、ご自身でプールサイド机上の泳がれるレーンの「IDカード入れ」に入れて下さい。泳がれた後、ご自身でIDカードを忘れずにお持ち帰りください。毎年取り違いによるトラブルが多く発生しています。他の選手のIDカードと間違わないように注意してください。

## 9. スタート／プールからの退水方法

### <スタート>

- (1) スタートは、25m種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。
- (2) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。
- (3) 前の組がスタートしたらただちにスタート台の後ろに並び、各レーン計時員にご自分の名前を伝えレーンを確認してください。
- (4) プールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そちらを利用してください。

### <プールからの退水方法>

- (1) 他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意し、横から退水します。退水は25m種目を除きレーンロープにつかまり水中で待機して、次の組がスタートしたら競技役員の指示に従い、横へ移動（1～3の泳者は1レーン横、4～6レーンの泳者は6レーン横）してください。競技役員から指示があった場合は、その指示に従ってください。
- (2) 25m種目はゴールタッチ後、すぐに次の組がスタートします。タッチ板に触れることのないようレーンロープにつかまり、次の組がスタートした後にプールから上がってください。

## 10. リレー種目

- (1) リレーオーダーを変更する場合（締切時間内に1回のみ）は、「リレーオーダー変更届」を提出してください。
  - ※ 種目、年齢区分の変更はできません。
  - ※ 同一リレー種目には、年齢区分別にかかわらず1人1回しか出場できません。
  - ※ オーダー変更締め切り後の泳者および泳者順序の変更は認められません。
- (2) 各「リレーオーダー変更届」提出締切時間はプログラム記載予定時間の1時間前までとし、受付へ提出してください。
- (3) 「リレーオーダー変更用紙」「棄権申し出用紙」は、受付にあります。  
※棄権者はチームでまとめて「棄権申し出用紙」に記入のうえ、受付に提出してください。
- (4) 招集席へは、「IDカード」を持参のうえ、4名揃って集合してください。4名揃っていないと招集を受けることはできません。
- (5) リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、受付にて指定の申告用紙で申告または招集所で役員へ申し出てください。申告がなく水中からスタートした場合は、記録を公認できない場合があります。
  - ※ 第2泳者以降が水中からスタートを行うことを認めているのは、国内ルールです。世界記録の突破を目指しているチームの第2泳者以降は、台上またはプールデッキからスタートを行ってください。

## 11. 表彰／記録

- (1) 出場選手全員に「公認記録証」および「参加章」を授与します。
- (2) 各種目の年齢区分ごとに、個人種目およびリレー種目の上位3位までにメダルを授与します。入賞された方は、受付にてメダルをお受け取りください。本人確認のため必ず「IDカード」を提示ください。メダルの受け渡し時間は、その日の競技終了20分後までとします。
- (3) 各種目の男女すべての組の競技終了後、1時間後目処にその種目の男女別、年齢区分別のランキングを公式掲示板に提示します。
- (4) マスターズ水泳日本記録を突破した選手およびリレーチームには「日本新記録樹立証」を授与します。突破した競技終了後に表彰を行いますので、競技役員の指示に従ってください。
- (5) 国際水泳連盟（FINA）認定のマスターズ水泳世界記録を突破した選手およびリレーチームには「世界記録突破証」を授与します。突破した競技終了後に表彰を行いますので、競技役員の指示に従ってください。

## 12. 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は「出場申告用紙」にて出場種目開始予定時間1時間前までに受付へ申告を行ってください。

### ① 世界記録に挑戦する方

- ※ 世界記録に挑戦する方は、下記＜世界記録の申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について＞を確認してください。「出場申告用紙」は不要です。

### ② テープ等をされる方

- ※ 本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。
- ※ 指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告を行っても許可できない場合がありますので注意してください。

### ③ 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性がある方

- ※ エントリー時に申告している方は、再度申告の必要はありません。

### ④ 出場に介助が必要な方

- ※ 出場に介助が必要な方は、チームから介助者を同行してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は役員の指示を優先し介助してください。

### ⑤ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

- ※ 世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。

## ＜世界記録の申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について＞

世界記録の突破が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、受付に必ず申告してください。

また世界記録を突破された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは住民票のコピー（3ヶ月以内のもの）」が必要となりますので準備してください。世界記録の突破者は、競技終了後、水着着用の写真を撮影します。

FINA承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

水着の改正についての詳細は、日本マスターズ水泳協会ホームページをご確認ください。

## ＜異議申し立てについて＞

異議申し立て（「抗議書」の提出）は、チームの責任者が行ってください。（一般選手からの抗議の申請は受けません。）競技開始前にわかった事柄については、その競技の出発合図の前までに、審判長に文章にして提出してください。競技の失格内容や状況等に異議のある場合は、そのレース終了後30分以内に「抗議書」に内容を記入し、抗議料5,000円を添えて受付に提出してください。「抗議書」の内容を大会総務で検討し裁定します。また、抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金しません。

その他、違反内容の問い合わせについては、規定用紙に記入のうえ、受付にお申し出ください。

### 13. 施設使用上の注意

※会場利用には、P4～6「3. 会場案内図」「4. 会場利用について」を参照してください。

#### <開場時の注意>

- (1) 選手の入退場は、正面入口より行います。開場時チーム関係者が場所取りのために会場内を走るのは大変危険です。思わぬ転倒事故につながる恐れがありますので、絶対におやめください。
- (2) 前日から入場口に並びことはできません。当日の朝8時以降にお並びください。

#### <施設使用上の注意>

- (1) プールサイドの観覧席等は、各チーム譲り合って利用してください。毛布シート・荷物等による観覧席の場所取り（イスの確保）は禁止です。イスの上や横に「チーム名入りの紙等」「小荷物」等を置いている場合は、場所取りと判断します。この場合は、会場係が撤去する場合がありますのでご了承ください。ポールによるのぼり旗（チーム旗）は、禁止とします。会場内では、競技役員の指示に従ってください。
- (2) 更衣は必ず更衣室で行ってください。また、プールサイド・更衣室以外を水着で通行することもお遠慮ください。
- (3) 更衣室のロッカーは、数に限りがあるため、更衣室では更衣のみの利用となります。更衣後の荷物等は各自で管理をお願いします。また、個人で管理のできない貴重品に関しては受付にて「物品 預かり証」をご記入いただき、所定の手続きをさせていただいたうえでお預かりします。盗難等については一切責任は負えません。最近特に、各競技場における盗難事故が多発していますのでご注意ください。
- (4) 館内で撮影を希望する場合は、撮影許可証が必要です。別紙「撮影許可申請書の提出について」を確認のうえ、申込んでください。撮影許可証を受け取り、撮影の際は必ず見える場所に着用してください。許可証をなしに撮影をしている不審者を見かけた場合は、大会本部へ連絡してください。
- (5) プールサイド、更衣室は、**履物厳禁**です。また、プールサイドでの水分補給はできますが、食事はできませんので選手控室または選手休憩スペースをご利用ください。
- (6) 館内の通路は水にぬれると滑りやすくなります。十分注意してください。
- (7) マスターズスイマーとして、マナーを守り館内をきれいに利用しましょう。ごみ等は、各自で持ち帰ってください。
- (8) 以下のことは禁止します。
  - ① 火気の使用
  - ② 喫煙（喫煙は指定の場所のみ）
  - ③ 会場内外でのテーブル類、くぎ、画びょう等の使用
  - ④ ビン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み
  - ⑤ 会場内電源を使用しての電気機器の充電
- (9) その他、館内利用についてはP4～6「3. 会場案内図」「4. 会場利用について」を参照してください。

## 14. 健康管理

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
- (2) 会場内で、ケガや体調が悪くなった場合は、医務室にて救急処置は行いますが、その後の処置は参加者側で行ってください。  
医務室は更衣室からメインプールへ向かう廊下右側、救護席は本部席報道席横です。
- (3) 当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
  - ・ 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
  - ・ 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
  - ・ 「マスターズ水泳キーワード9」をよく理解し、参加すること。
- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

## 15. その他

- (1) 本大会のスィムキャップ等水泳用品を受付にて販売します。
- (2) 大会期間中は忘れ物のないように注意してください。忘れ物は、受付にて保管していますが、大会終了後1週間で廃棄処分します。
- (3) お申し込み時およびIDカードに記入の大会緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生などが万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
  - ① 責任者が会場へ同行される場合：出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
  - ② 責任者が会場へ同行されない場合：大会当日、緊急時の連絡先について確認の連絡をした際に伝えられるよう準備してください。

※ 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (4) 私的営業活動の禁止  
大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- (5) 不可抗力による中止の際の対応  
大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加章（バッジ）」「プログラム（申し込み分）」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。

- (6) 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて  
本大会に当たり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。
- ① 個人情報
    - ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
    - ・ 競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。
  - ② 肖像
    - ・ 大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に使用します。
    - ・ 以降マスターズ水泳普及活動のために使用します。
    - ・ 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。
- (7) 会場内での撮影について  
競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。  
なお、撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

## 撮影許可申請書の提出について

各大会におきまして選手を不当な目的で盗撮する事件が頻繁におきています。特に最近ではマスコミでも報道されているように赤外線カメラを使用するなど手口も巧妙かつ悪質となっているケースが多くみられます。こうした不祥事を防止するために、本大会におきましては撮影許可の申請を行わない者はビデオ、カメラ、携帯電話等での撮影を禁止することにしました。

つきましては貴チームの関係者で本来の目的による撮影を希望する方は、下記事項を了承のうえ、撮影許可申請書に必要事項を記入し、撮影許可申請デスク（受付）に提出してください。

### 記

#### <確認事項>

- ・ 本来の目的による撮影以外には発行することはできない。
- ・ 撮影許可を証明するゼッケンを着用して撮影することを条件とする。
- ・ 撮影許可申請書と引き換えに許可を証明するゼッケンを貸し出す。
- ・ 撮影許可申請書は、大会実行委員会発行のものを各チームでコピーして使用すること。
- ・ 各チームで撮影許可申請書発行簿を作成し、申請状況を把握すること。（書式は各チームによる）
- ・ 撮影許可申請書を提出した場合であっても、競技に関係のない撮影は禁止する。なお、機材や映像の点検をさせていただくことを撮影許可の条件とする。
- ・ ゼッケンは撮影許可申請デスクに大会終了までに返却すること。
- ・ 返却の際、返却確認書を受け取り、大会終了後1カ月間保管すること。
- ・ 返却なき場合、紛失・破損・汚損等の場合は、実費として2,000円を徴収する。
- ・ ゼッケンの申請者以外への貸し借りは固く禁止する。必ず申請者本人が返却すること。
- ・ 私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受ける必要がある。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権侵害となるので注意すること。

以上

-----きりとり-----

<2016年度日本マスターズ短水路大会 滋賀会場>

No. \_\_\_\_\_

## 撮影許可申請書

上記<確認事項>を了承のうえ申請します。

使用日：2016年 4月10日

氏名			
	関係	コーチ・選手・家族・親戚・その他（ ）	
チームNo	—	チーム名	
住所			
電話番号			
機種	ビデオ・カメラ・携帯電話・タブレット・その他	機種名	

使用後は、大会終了までに必ず返却します。

責任者署名 \_\_\_\_\_

\* コピーして使用してください \*